まちみらい地域ミーティングでの主なご意見に対する各課の取組状況等【その他】（令和8年11月25日現在）

No.	分類	主なご意見	取組状況等
1	市民参加・地域協働と市政運営	市民や自治組織の声を幅広く聞き、地域活動やボランティアなどに市民が主体的に参加・協力できる仕組みを整えてほしい。市職員には地域や民間の現場に関心を持って行動・提案してほしい。市政の計画や取組の進捗を分かりやすく示し、市民の声を施策に生かしてほしい。	【企画課】 市民や自治組織との対話を継続し、地域や民間の声を庁内で共有して、各種事業や施策に生かしていきます。また、市政の計画や取組の進捗を分かりやすく広く周知するとともに、総務省が進める「ふるさと住民登録制度」の活用も検討しながら、市民が地域活動やボランティアに主体的に参加・協力できる体制を整備していきます。 【地域協働課】 地域の維持・存続と活性化を推進するため、地域協働課内に「地域自治支援係」を設置し、能生・青海の両事務所の担当職員と連携して、地域と行政のパイプ役となる「地域担当者」を配置しています。地域担当者は、積極的に地域へ足を運び、地域が主体となって取り組む地域コミュニティ活動を支援するとともに、さまざまな地域課題についての相談窓口となり、地域や担当部署とともに課題解決に向けた対応を行っています。併せて、集落支援員を配置し、中山間地域の集落機能や活力を維持・支援しています。 参加・協力できる仕組みにつきましては、地域づくり協議会等が主体となって身近な地域課題の解決を目的として実施する「地域づくりプラン」の策定・実現を、「地域づくり活動支援事業」により推進しています。 また、住民等が主体的に取り組む地域づくり事業の立ち上げや活動等を支援するため、「まちづくりパワーアップ事業」、「若者の力による地域活性化交流事業」の活用を推進しています。 このような仕組みにより、住民の皆様による自主的かつ主体的な活動を支援しています。ぜひご活用ください。 なお、高齢化率50%以上の集落を対象に、生活の安心・安全の確保と集落の維持・活性化などのために必要な共同作業に対するボランティア制度を実施しています（地域生き活き集落サポーター事業）。
2	事業・施設の見直しと地域の持続性	限られた人員・予算を必要な分野に生かすため、事業や施設の重複、維持費、投資先を点検し、優先順位を見直してほしい。人口減少を見据えた機能集約やコンパクト化を進める際は、地域の実情や市全体のバランスにも配慮し、地域資源や市の魅力を生かしてほしい。	【企画課】 各種事業の目的や内容の点検及び成果を評価した「事務事業評価」の結果を有効に活用し、実施計画と連動させながら、新年度の予算編成に取り組んでいます。引き続き、評価の結果及び市民の皆さまの声や地域の実情を踏まえた施策展開及び市の魅力発信に取り組んでいきます。
3	地域文化・環境・施設の維持	祭りや文化を継承するため、担い手への支援を考えてほしい。草刈りなどの美化活動や公共施設の環境整備も、住民と協力して続けられる仕組みを整えてほしい。廃校施設については、地域での活用や若者の活動・就労につながる活用を検討してほしい。	【企画課】 伝統行事の継続や地域の困りごとの解決に資する、市内外のボランティア参加の仕組みを整えるため、「ふるさと住民登録制度」等の活用を検討していきます。また、廃校施設については、地域の実情を踏まえ、効果的な活用となるよう検討します。 【地域協働課】 担い手への支援につきましては、No.1に記載した取組状況のとおりです。まずは地域の中で負担になっている課題などを整理していただき、地域担当者とご相談をお願いいたします。
4	地域交通・道路と災害時の備え	新幹線の停車本数やトキ鉄の経営を維持するなど、地域の移動手段を確保してほしい。また、親不知・市振間のトンネル化の検討や、災害時に支援物資やボランティアを円滑に受け入れ、配置できる体制を作ってほしい。	【地域協働課】 新幹線につきましては、近隣の関係自治体と一体となって停車本数の維持も含めた利便性の向上に向けた取組を進めています。また、トキ鉄の経営維持につきましては、新潟県や沿線市と協調して支援を行っています。 【都市建設課】 親不知・市振間については、国土交通省が令和2年度に一般国道8号「親不知道路」として事業化しています。外波から市振までの約6.7kmを、トンネルや橋梁を主体とした道路として整備し、災害時の通行確保や安全性の向上を図る計画です。現在は地質調査や道路設計が進められており、市としても、事業の早期完成に向けて引き続き国へ働きかけていきます。 【危機管理課】 支援物資やボランティアの受入れについては、糸魚川市地域防災計画に基づき、県・社会福祉協議会等の関係機関と連携して体制を整備していきます。
5	地域情報の共有と発信	能生のケーブルテレビは地域の情報が家庭に届けられありがたい。能生以外の地域も含めた全市双方向の情報発信としてケーブルテレビは有効だと思うがいかがか。	【企画課】 現在、市内全域で自主放送を行う体制がないため、ケーブルテレビによる全市的な情報発信は難しい状況です。今後も広報紙やホームページ、SNSなどを活用して情報を届けるとともに、市民の皆様から意見や要望をお寄せいただける機会の充実にも努めていきます。

No.	分類	主なご意見	取組状況等
6	外国人労働者との地域づくり	外国人労働者を地域の一員として受け入れ、ともに暮らしやすい地域をつくるため、関係団体が連携して支え合える体制を整えてほしい。	【産業労働課】 糸魚川市内の外国人労働者は、雇用事業所数及び雇用者数ともに年々増加しており、各事業所において法に基づき適切に生活支援を実施していると判断しております。 【市民生活課】 言語の違いが交流の希薄化を招くことを踏まえ、当市では日本語能力の向上を支援する日本語セミナーを定期的に開講しているほか、日本人住民と外国人住民が気軽に交流できるイベントも開催しています。今後も多文化共生の推進に向けて関係団体と連携し、地域の実態に合わせた取組を行っていきます。
7	権現荘について	権現荘を民間譲渡して1年以上経つが、今どのような状況なのか、市として把握していることはあるか。	【能生事務所】 権現荘は民間企業であるため、経営状況については把握していませんが、利用者の評判は良いと聞いています。地元の皆様と連携してイベントを開催するなど地域と利用者との交流にも寄与しています。
8	AIの活用	10年先のまちづくりに向けて生成AIを積極的に活用すべき。また、AIから導き出された答えを適切に引き出し、応用できる人材の育成や組織的な活用が必要ではないか。	【企画課】 生成AI等を効果的に活用し、AIによる情報整理や検討の土台づくりと、人対人の対話を組み合わせながら、今後のまちづくりを進めていきます。また、AIによる答えを適切に判断・活用できるよう、引き続き庁内での組織的な活用にも取り組んでいきます。
9	市長・市政への期待と応援	課題を先送りせず、将来を見据えて取り組んでほしい。市長や市職員の姿勢に変化を感じ、市政に期待している。今後もさらに取組を進めてほしい。	【企画課】 市民の皆さまとの対話を大切にしながら、必要な施策を着実に進めていきます。引き続き、市民参加型の市政運営にご理解とご協力をお願いいたします。